

## 「人の話を聴くことで人生の80%は成功する」

～2 学期始業によせて～

2022・8・29 校長 重枝一郎

コミュニケーションの基本は「聴く」ことです。教科の授業はもちろん部活動、友だち、保護者、地域の方、関わりのある人すべてにおいて、また、あらゆる場面で「聴くスキル」は意識することが大切です。意識を高めるために4つのスキルについて紹介します。

### ① ハートリスニング（ハーリスの3ない）

心で聴くということ

- 人の話をじゃましない
- 人の話をさえぎらない
- 人の話を否定しない

これが3ない

### ② ボディーリスニング（ボディリスの3く）

身体を使って聴くということ

- うなづく
- 向く
- 書く

これが3く

### ③ リターンリスニング

人の話を「へえー、〇〇なんだ」などと繰り返すことで会話に弾みがつく

### ④ クエスチョンリスニング

質問を引き出す

幸せそうな人は、みんな人の話を聴いている！

ちょっと聴いて！

- ① 好きな色は「青色」です
- ② 性格は、よく気がつき、優しい
- ③ 男の子と同じ部屋に住んでいます
- ④ その男の子は頼りないので、いつも助けてあげています
- ⑤ 役に立つ道具をたくさんもっています

さあ、誰でしょう???

答えは、「**誰とでも組める力**」です。これは私が以前クラスで行っていた「ブラインド・デート」という演習です。生徒が自分についてこのようなクイズ形式の問題を作り、誰なのかみんなで当てるのです。その人の秘密めいた一面を知ることだったり、意外な一面を知ることができたり、友だちの新たな発見に気付く時があります。クイズの作り方で、例えばサッカー部に所属している人が「私はサッカー部で・・・」という、みんながよく知っていることは避けます。なかなかおもしろくて、あっという間に 1 時間って感じでした。私は、1 学期は「お互いのことを知る」をテーマにし、いろんな友だちと話すことが重要だと考えています。

さて、いよいよ 2 学期です。

2 学期のテーマは、「**誰とでも組める力**」がいいと思います。そして、3 学期は「このクラスでよかった」と思うための仕上げとして、自分たちで自治をする。先生は委任する。これこそが集大成ということでしょう。2 学期までの**聴く力**で獲得した知識とそれまでの経験とを結びつけて、知識を知恵にしていきます。そして、自分の、自分たちの行動を自分で、自分たちでつくるのです。そのためにもこの 2 学期は、聴く力を最大限発揮し、「**ルールとリレーション**」を定着させることが大切です。この「ルール（マナー）」と「リレーション（人間関係）」は相互作用があって、ルールを守ると、人付き合いの不安がなくなるからリレーションもでき、そして、ルールがある状態でリレーションが高まると、今あるルールを尊重するようになり自然とルールを大切にします。

もう一度言います。「**幸せそうな人は、みんな人の話を聴いている！**」

クラスメイトの話、チームメイトの話、授業やさまざまな活動での話、いろんな話を吸収して、「**誰とでも組める力**」を獲得してほしいと思います。

さあ、充実した 2 学期にするために、みんなで力を合わせよう！！

ちょっといい話・・・

8 月 10 日（水）の午後、本校バトン部の中学生数名が、バス停できつそうに座り込んでいる年配女性の方に声をかけ、涼しくしたり、うまく乗り継げるよう時刻表を調べたりして、寄り添っていたそうです。その方は、とても感謝されていたそうです。

この素晴らしい善行に対し、学校長表彰をさせていただきます。

これも、「**誰とでも組める力**」につながります。